

## 事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年 3月 25日
2次評価日（課長等）	26年 3月 25日

1 事業名	自主防災組織等育成事業	コード	94401
-------	-------------	-----	-------

2 担当部課	部等 総務部	課等 消防課	作成者 二村 仁
--------	--------	--------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
		政 策	安全・安心な暮らしの確保	施 策	消防・救急体制の充実
		予算科目	予算なし	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 （簡潔に）	市民のために、自らの地域は自らの力で守ることのできる、組織づくりを支援する。
目的	対象者 市民、自主防災組織、岡谷市防火協会、婦人防火クラブ、企業の自衛消防隊
	意 図 災害に強い安全、安心な地域社会をつくる。

5 事業の実施内容	*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織、婦人防火クラブに対し消防訓練の指導を年16回実施すると共に、その他の企業等に対しては81回実施した。</li> <li>4月17日 岡谷市防火協会会計監査を消防署で実施した。</li> <li>4月23日 第1回岡谷市防火協会正副会長会並びに理事会を消防署で開催した。</li> <li>5月29日 岡谷市防火協会定期総会をライフプラザマリオで開催し57名が出席した。</li> <li>7月1日 花火の事故防止チラシを5,500枚作成し市内保育園、幼稚園、小学校へ配布した。</li> <li>7月26日 第2回岡谷市防火協会正副会長会並びに理事会を消防署で開催した。</li> <li>8月31日 小学生を対象に標語入り防火ポスターコンクール審査会を消防署で開催した。</li> <li>9月12日 第35回標語入り防火ポスターコンクールをライフプラザで開催した。</li> <li>9月29日 第33回自衛消防隊消防操法大会をイルフプラザ駐車場で開催し21チーム60名が参加した。</li> <li>10月16日 第35回標語入り防火ポスターをイルフプラザ3階憩いの広場に12日間展示した。</li> <li>10月27日 第35回標語入り防火ポスターコンクール表彰式を消防署で開催した。</li> <li>11月6日 岡谷市防火協会主催による視察研修を行い25名が参加した。</li> <li>12月2日 平成26年度版標語入り防火カレンダーを750部作成し、岡谷市防火協会会員事業所、関係行政機関等へ配布した。</li> <li>3月18日 第3回岡谷市防火協会正副会長会並びに理事会をイルフプラザで開催した。</li> <li>3月31日 岡谷市防火協会の会報を400部作成し、会員事業所、関係行政機関等へ配布した。</li> </ul>
前年度の課題への対応	いつどのような形で起こるかかわからない大規模災害に備えて、災害弱者が入所している福祉施設、病院等の関係者に対し、岡谷市防火協会主催の自衛消防隊消防操法大会に積極的に参加していただき、より実践的な訓練を行うことで、緊急時の災害活動を組織的に行うことのできるリーダーの育成を行った。

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	訓練指導、イベント、配布、会議、研修の件数			単位	件
実績値	39	38	42		
*指標の説明	実施した事業の件数				
② 成果指標（指標名）	訓練指導、イベント、配布、会議、研修の件数			単位	件
目標値	39	39	39		42
実績値	39	38	42		
達成度	100.0%	97.4%	107.7%		
*指標の説明	福祉施設、病院の関係者が積極的に消防訓練を実施したため。				
*目標値の設定方法の説明	前年度の実績件数による。				

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	0	0	0	0
経常経費	0	0	0	0
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	1,280,000	1,280,000	1,280,000	1,280,000
正規職員の人数(人)	0.16	0.16	0.16	0.16
③ 合計コスト(①+②)	1,280,000	1,280,000	1,280,000	1,280,000
前年度比		100.0%	100.0%	100.0%
財源内訳				
一般財源	1,280,000	1,280,000	1,280,000	1,280,000
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	32,821	33,684	30,476	
前年度比		102.6%	90.5%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	1	
成果指標の実績値 前年度比	110.5%	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	1	
成果指標の目標値 達成度	107.7%	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練の計画・立案・実行を自ら実施することが困難であり、指導に向かう職員が複数人となる。</li> <li>・地震など大規模災害発生時には、消防機関だけでなく、行政が把握し切れない地域の特性や、住民情報を把握した自主防災組織の活動が必要不可欠であり、迅速にきめ細かい対応をした時、受益者が満足する。近年、地域において住民同士の交流が薄く、福祉などの地域活動や、街づくり活動が衰退している状況であり、自助・共助の精神が失われつつあることが問題になっている。</li> <li>・東日本大震災のように、大規模災害発生時には、その被害が大きければ大きいほど支援する側の機能が失われ、支援する側が被災によって援護を要する立場になってしまう危険性がある。</li> </ul>	
	改善方法	<p>(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独自で訓練が実施できるよう、指導者の育成や資機材の有効な貸し出しを行う。</li> <li>・自主防災組織が取り組む内容としては、活動内容の策定から日常的な人間関係の調整など、多彩な側面があることから、緊急時の災害活動を組織的に行うことの出来るリーダーを育成し、今まで以上に自助・共助の考えのもと地域に根付いた実践的な防火・防災訓練を実施する。</li> <li>・大規模災害発生時には、個別支援では対応できないため、住民や企業、その地域にある諸施設が連携して協力できる体制を確立する。</li> </ul>
		改善開始時期

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---